

# 飯豊町国土利用計画 (第四次)

平成24年3月

山形県飯豊町

## 前 文

この計画は、国土利用計画法第 8 条の規定に基づき、飯豊町の区域における国土(以下「町土」という。)の利用に関する基本的事項について、山形県国土利用計画(平成 22 年 3 月)を基本とし、第 4 次飯豊町総合計画(平成 23 年 3 月)の基本構想に即して定めるものです。

なお、この計画は、社会情勢の変化等に対応し、必要に応じて見直しを行うものとします。

## 町土の利用に関する基本構想

### 1 町土利用の基本方針

町土は、町民の生活や生産など諸活動の基盤であり、町民共有の財産です。

また、現在と将来の町民のための限られた資源であることから、町土の利用に当たっては、公共の福祉を優先させ、自然環境の保全を図りつつ、地域の自然的、社会的、経済的及び文化的条件に配慮して、健康で文化的な生活環境の確保と町土の均衡ある発展を図ることを基本とし、総合的かつ計画的に行うものとします。

### 2 利用区分別の町土利用の基本方向

#### 農用地

農用地については、農業が本町における主要な産業の一つとして地域経済の維持、発展を支えており、産業振興や所得向上の基盤として優良農用地の確保に努めていきます。また、農用地は、町土や自然環境の保全、水源涵養のほか、地域社会の維持と安らぎのある住民生活を維持する公益的・多面的な役割を担っていることを踏まえ、その機能の持続的な維持に努めていきます。

ただし、農業に従事する農業者の高齢化が顕著であり、担い手の確保が急務な状況の中で、現実的に耕作できない農家が現れており、里山の裾野や集落内においても農用地が荒廃化してきており、将来を見据えた土地利用を考える必要があります。さらに、農山村は歴史や伝統に培われた資源豊富な空間であり、それ自体が風土に根ざした産業を生み出す潜在的価値を保有しています。その基本となるのが農用地であり、その保全及び有効利用に取り組みます。

#### 森林

森林については、町土の保全、水源涵養、土砂流出防止、さらには緑の景観や保健休養及びレクリエーションの場の提供といった多面的機能を有しているとともに、温室効果ガス吸収源としての役割が期待され、適切な森林管理が求められているものの、手入れの行き届かない森林が増加しており、近年ではナラ枯れが大きな課題となり、生態系にも大きな影響を及ぼしています。

一方では、森を活動拠点として企業による森林育成活動が行われ、特用林産物や木質バイオマスエネルギー利活用のための森林の活用など新たな動きもあります。

したがって、森の恵みの実践教育を意識しつつ、里山の有効活用を図るとともに、森林全体の適正な維持・管理に努め本町の特性に即した諸機能を生かしていくための利用を図ります。

## 原野

湿原等については、自然環境の保全に努めます。その他の原野については、環境の保全に配慮しつつ、近接する利用区分に準じ、一体的な利用を図ります。

## 水面・河川・水路

水面と河川については、自然の水質浄化作用、魚類など生物の多様な生息・生育環境、潤いのある水辺環境など多様な機能の維持・向上を図るとともに、災害防止などに配慮した整備を行い、安全で多目的な利用を図ります。

また、より安定した水供給のため、これまで同様、水資源の確保を図ります。

水路については、農業用排水路の整備等に要する用地の確保を図るとともに、施設の適切な維持管理・更新を通じて、既存用地の持続的な利用を図ります。

## 道路

一般道路については、地域間の交流・連携を促進し、町土の有効利用及び良好な生活・生産基盤の整備を進めるため、必要な用地の確保を図るとともに、施設の適切な維持管理・更新を通じて、既存用地の持続的な利用を図ります。

整備に当たっては、人に優しい道づくりのため、道路の安全性、快適性の向上並びに防災機能向上や地域の文化及び環境の保全に十分配慮します。

農林道については、農林業の生産向上並びに農用地・林地の適正な管理を図るため、必要な用地の確保を図るとともに、施設の適切な維持管理・更新を通して、既存用地の持続的な利用を図ります。

## 宅地

住宅地については、安全で快適な住生活の実現及び秩序ある土地利用の観点から、耐震・環境性能を含めた住宅の質の向上を図るとともに、住宅周辺的生活関連施設の整備を計画的に進めながら、良好な居住環境が形成されるよう、必要な用地の確保を図ります。

工業用地については、環境の保全等に配慮し、町民所得の向上、就業機会の確保、地域人口の定住化を図り、町土の均衡ある発展を目指し、グローバル化、情報化の進展などに伴う産業の高付加価値化や構造変化、工場の立地動向、産業・物流インフラの整備状況、地域産業活性化の動向などを踏まえ、工業生産に必要な用地の確保を図ります。

## その他

文教施設、公園・緑地、環境衛生施設、厚生福祉施設などの公用・公共用施設の用地については、町民生活上の重要性とニーズの多様性を踏まえ、景観及

び環境の保全に配慮して、必要な用地の確保を図ります。

レクリエーション用地については、町民の価値観の多様化や観光の振興、自然とのふれあい志向の高まりを踏まえ、自然環境の保全を図りつつ、地域の振興等を総合的に考慮して、計画的な整備と有効利用を進めます。

その際、森林、河川などの余暇空間としての利用や施設の適切な配置に配慮します。

町土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標及びその地域別の概要

1 町土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標

町土の利用の基本構想に基づく平成32年の利用区分ごとの規模の目標は次のとおりです。

(単位：ha、%)

利用区分	平成21年	平成27年	平成32年	構成比			増減率 32年/21年
				平成21年	平成27年	平成32年	
農用地	2,350	2,338	2,335	7.1	7.1	7.1	0.6
農地	2,350	2,338	2,335	7.1	7.1	7.1	0.6
採草放牧地	0	0	0	0.0	0.0	0.0	-
森林	27,783	27,783	27,783	84.3	84.3	84.3	0.0
原野	27	27	27	0.1	0.1	0.1	0.0
水面・河川・水路	606	606	606	1.8	1.8	1.8	0.0
道路	550	554	556	1.7	1.7	1.7	1.1
宅地	361	366	367	1.1	1.1	1.1	1.7
住宅地	208	209	210	0.6	0.6	0.6	1.0
工業用地	21	24	24	0.1	0.1	0.1	14.3
その他の宅地	132	133	133	0.4	0.4	0.4	0.8
その他	1,283	1,286	1,286	3.9	3.9	3.9	0.2
合 計	32,960	32,960	32,960	100.0	100.0	100.0	0.0

(注) 平成21年の利用区分ごとの面積は、山形県資料による。

計画の目標年次は平成32年とし、基準年次は平成21年とします。

町土の利用に関して基礎的な前提となる人口及び世帯数は、平成32年において、それぞれ6,784人、2,120世帯と想定します。

町土の利用区分は、農用地、森林、原野、水面・河川・水路、道路、宅地、その他とします。

目標の数値については、今後の社会経済の不確定さなどを踏まえ、弾力的に理解されるべき性格のものであります。

(注) 人口については、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」(平成20年12月推計)を計上し、町段階の政策による変動値を除いた。

## 2 地域別の概要

地域の区分は、各地域の自然的、社会的、歴史的諸条件を勘案して、9つの区分とします。

第4次飯豊町総合計画の地区別計画に掲げられた各地区の将来像は以下のとおりです。

### 中地区

三世代同居ができる地区づくりを進めます。歴史と誇りある伝統文化と自然環境、そして、人と人の絆を次世代へと継承し続け笑顔と活気あふれる地域をつくります。

### 萩生地区

萩生城址を象徴とし伝統文化の息吹が溢れ、誰もが夢に挑戦できる賑わい溢れる地域をつくります。地域内循環を意識し、地産地消や手技の継承により新たな所得を産み出す地域をつくります。未来に向かって安心安全な暮らしの確保と環境を理解した暮らしの地域を展開します。

### 黒沢地区

世代間交流が活発で、助け合いながら、自然豊かで住みよい黒沢を目指します。

### 椿地区

文化の薫りに満ちて人々が生き生きと行き交い、和やかに安心して暮らせる椿地区を目指します。

### 小白川地区

子どもからお年寄りまでが集い、そこに元気な声と笑顔があふれる暮らしがある地域を目指します。

### 東部地区

多くの住民が楽しく歩き回るまち、自然環境が保全・活用される生活、地域と関わりを持ちながら暮らせるまち、子どもたちが見守られながら育つまち、地域ぐるみで子どもを育てるまち、人との関わりの中で暮らせるまちを目指します。

#### 手ノ子地区

多様な里づくり活動を創造し、課題と展望を持った豊かな里の暮らしをつくれます。集落内とその周囲の景観を質の高いものに整備し、誇りを持てる生活環境をつくれます。宿場町としての歴史と文化、周囲の農村の歴史と文化を活かして、「手ノ子町」を再現します。

#### 高峰地区

自然環境の保全と生活環境の改善を図り、高峰地域に育まれた歴史と伝統ある生活習慣を守り、快適で安心して定住できる地域づくりを進めます。

#### 中津川地区

恵まれた自然環境と共存することによって、心豊かに生活できる地区を目指します。



に掲げる事項を達成するために必要な措置の概要

に掲げる事項を達成するために必要な措置の概要は次のとおりです。

1 公共の福祉の優先

土地については、公共の福祉を優先させるとともに、その所在する地域の自然的、社会的、経済的及び文化的諸条件に応じて適正な利用が図られるよう努めます。このため、各種規制措置、誘導措置等を通して総合的な対策を実施し、県計画など土地利用の諸計画との調和のもと均衡ある発展を図ります。

2 土地利用に関する法律等の適切な処理

国土利用計画法及び土地利用関係法（農業振興地域の整備に関する法律、農地法、森林法、自然公園法等）の適切な運用により、土地利用の計画的な調整を推進し、適正な土地利用の確保を図ります。

3 地域整備施策の推進

第4次飯豊町総合計画の基本構想に掲げる将来像である「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」を実現するため、基本構想の施策の大綱に基づき町土の均衡ある発展を図るため、計画的な土地利用を推進します。

4 土地利用に係る環境の保全及び安全の確保

森林や河川等の豊かな自然環境と美しい景観を有する町土の保全と安全の確保のため、地形等の自然条件と土地利用との整合性を図り、土砂災害防止のための建築物の立地抑制等の推進や安全性の確保に向けた適正な土地利用の誘導による被害予防等、防災に配慮した計画的で適正な土地利用の誘導を図ります。

また、居住環境の維持向上と農業生産環境の保全を図るため、適正な土地利用の誘導を進め、生活環境の保全を図ります。

5 土地利用の転換の適正化

土地利用の転換を図る場合は、転換を行うことにより元の土地利用の状況へ戻すことが困難であること及び影響の大きさに十分留意し、人口及び産業の動向、周辺の土地利用の状況、社会資本の整備状況その他の自然的・社会的条件を勘案して適正に行うこととします。

森林の利用転換については、森林資源の維持並びに自然環境及び景観の保全に十分配慮するとともに、二酸化炭素の吸収や洪水調節、水源涵養などの森林の持つ多様な公益的機能に及ぼす影響を考慮し、周辺地域における土地利用との調整を図りながら慎重に行うものとします。

農用地の利用転換については、食料生産の確保、農業経営の安定、地域農業、田園景観に及ぼす影響に留意し、非農業的土地利用との計画的な調整を図り、無秩序な転用を抑制し優良農用地の確保に努めます。

大規模な利用転換については、その影響が広範であることから、周辺地域を含め十分な調査等を行い、地域住民の意向に配慮するとともに、町土の保全と安全性の確保、景観の保全等に留意しながら、適正な土地利用の確保を図ります。

## 6 土地の有効利用の適正化

### 農用地

農用地については、効率的かつ安定的な農業経営を営むため、生産性の向上を図るとともに、遊休農地の有効利用の促進と発生防止に努めます。

### 森林

森林については、その多面的機能が高度に発揮されるよう、適切な整備・保全を図ります。

### 水面・河川・水路

水面・河川・水路については、治水・利水の機能発揮に留意しつつ、生物の多様な生息・生育環境としての機能の発揮のための必要な水量と水質の確保を図るとともに、地域の景観と一体となった水辺空間の形成を図ります。

### 道路

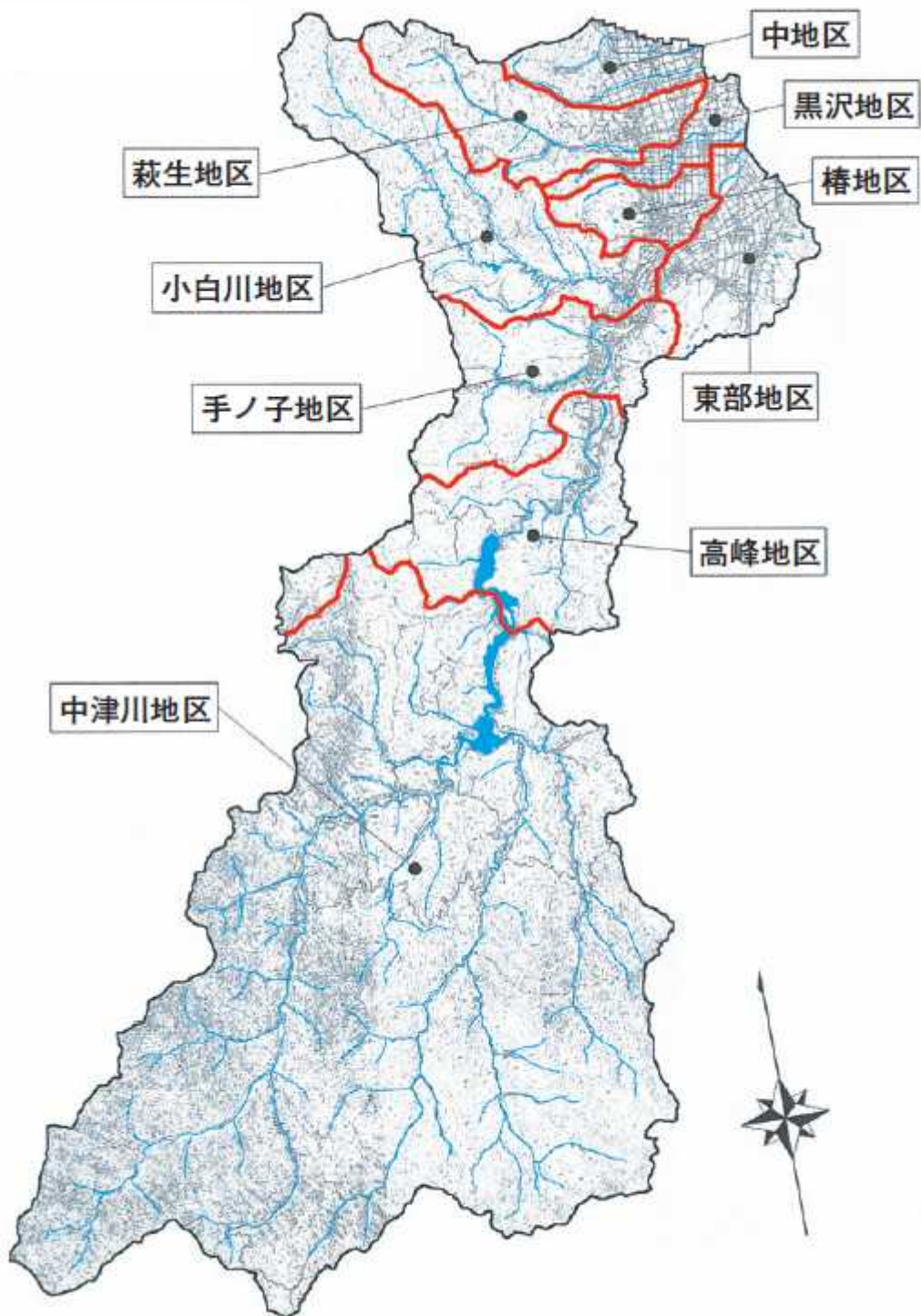
道路については、幹線道路や生活道路の体系的な道路整備を推進するとともに、適切な維持管理に努め、安全で快適な交通環境を整備します。

### 宅地

住宅地については、宅地需要に対応するため、適正規模の新たな宅地の供給を促進するとともに、低利用地の活用を進めます。

# 参 考 资 料

1 計画における地域区分



## 2 町土の利用区分の定義

利用区分	定 義
農用地	農地法第2条第1項に定める農地及び採草放牧地の合計である。
農地	耕作の目的に供される土地であって、畦畔を含み水路、農道は含まない。
採草放牧地	農地以外の土地で、主として耕作又は養畜の事業のための採草又は家畜の放牧の目的に供されるもの。
森林	<p>国有林と民有林の合計であり、林道面積は含まない。</p> <p>1) 国有林 林野庁所管国有林、官行造林地、その他省庁所管国有林の合計。</p> <p>2) 民有林 森林法第2条第1項に定める森林であって同法同条第3項に定めるもの。</p>
原野	「森林以外の採草地」から「採草放牧地」及び国有林に係る部分を除いた面積である。
水面・河川・水路	<p>水面、河川及び水路の合計である。</p> <p>1) 水面 湖沼並びにため池の満水時の水面。</p> <p>2) 河川 河川法第4条に定める一級河川、同法第5条に定める二級河川及び同法100条による準用河川の同法第6条に定める河川区域。</p> <p>3) 水路 農業用排水路。</p>
道路	<p>一般道路、農道及び林道の合計である。車道部(車道、中央帯、路肩)、歩道部、自転車道部及び法面等からなる。</p> <p>1) 一般道路 道路法第2条第1項に定める道路。</p> <p>2) 農道 農地面積に一定率を乗じた圃場内農道及び「市町村農道台帳」の農道延長に一定幅員を乗じた圃場外農道。</p> <p>3) 林道 国有林林道及び民有林林道。</p>
宅地	建物の敷地及び建物の維持又は効用を果たすために必要な土地である。
住宅地	「固定資産の価格等の概要調書」の評価総地積の住宅用地に、非課税地積のうち、都道府県営住宅用地、市町村営住宅用地及び公務員住宅用地を加えたもの。
工業用地	「工業統計表(用地・用水編)」にいう「事業所敷地面積」を従業員10名以上の事業所敷地面積に補正したもの。
その他の宅地	住宅地、工業用地の区分のいずれにも該当しない宅地。
その他	町土面積から「農用地」、「森林」、「原野」、「水面・河川・水路」、「道路」及び「宅地」の各面積を差し引いたものである。
合計	町土面積である。

### 3 主要指標の見通し

(単位：人、%)

区分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	増減率 (H32 / H22)
人口	9,538	9,204	8,623	7,943	7,392	6,784	14.59
14歳以下	1,640	1,325	1,064	939	718	612	34.82
15～64歳	5,547	5,256	4,878	4,494	4,148	3,587	20.18
65歳以上	2,351	2,623	2,681	2,510	2,526	2,585	2.99
世帯数	2,316	2,333	2,299	2,235	2,180	2,120	5.15
就業人口	5,013	4,747	4,507	-	-	-	-
第1次産業	1,133	853	828	-	-	-	-
第2次産業	2,306	2,072	1,740	-	-	-	-
第3次産業	1,574	1,822	1,939	-	-	-	-

資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成20年12月推計）

#### 4 利用区分ごとの町土利用の推移

(単位：ha、%)

利用区分	平成7年		平成12年			平成17年			平成21年		
	面積	構成比	面積	構成比	増減率 (H12/H7)	面積	構成比	増減率 (H17/H12)	面積	構成比	増減率 (H21/H17)
農用地	2,601	7.9	2,445	7.4	6.0	2,377	7.2	2.8	2,350	7.1	1.1
農地	2,601	7.9	2,445	7.4	6.0	2,377	7.2	2.8	2,350	7.1	1.1
採草・放牧地	0	0.0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-
森林	27,617	83.8	27,446	83.3	0.6	27,768	84.2	1.2	27,783	84.3	0.1
国有林	6,341	19.2	6,075	18.4	4.2	6,053	18.4	0.4	5,986	18.2	1.1
民有林	21,276	64.6	21,371	64.8	0.4	21,715	65.9	1.6	21,797	66.1	0.4
原野	21	0.1	27	0.1	28.6	27	0.1	0.0	27	0.1	0.0
水面・河川・水路	605	1.8	605	1.8	0.0	606	1.8	0.2	606	1.8	0.0
水面	292	0.9	294	0.9	0.7	295	0.9	0.3	295	0.9	0.0
河川	185	0.6	185	0.6	0.0	185	0.6	0.0	185	0.6	0.0
水路	128	0.4	126	0.4	1.6	126	0.4	0.0	126	0.4	0.0
道路	514	1.6	531	1.6	3.3	544	1.7	2.4	550	1.7	1.1
一般道路	317	1.0	332	1.0	4.7	343	1.0	3.3	346	1.0	0.9
農道	142	0.4	135	0.4	4.9	135	0.4	0.0	135	0.4	0.0
林道	55	0.2	64	0.2	16.4	66	0.2	3.1	69	0.2	4.5
宅地	313	0.9	337	1.0	7.7	353	1.1	4.7	361	1.1	2.3
住宅地	194	0.6	203	0.6	4.6	207	0.6	2.0	208	0.6	0.5
工業用地	19	0.1	19	0.1	0.0	21	0.1	10.5	21	0.1	0.0
その他の宅地	100	0.3	115	0.3	15.0	125	0.4	8.7	132	0.4	5.6
その他	1,289	3.9	1,569	4.8	21.7	1,285	3.9	18.1	1,283	3.9	0.2
合計	32,960	100.0	32,960	100.0	0.0	32,960	100.0	0.0	32,960	100.0	0.0

(注) 1 平成7年から平成21年までの利用区分ごとの面積は、山形県資料による(以降同様)。

2 各利用区分の構成比は四捨五入の関係で各々の内訳の構成比の合計と合わない場合がある(以降同様)。

5 利用区分ごとの町土利用の規模の目標

(単位：h a、%)

利用区分	平成21年		平成27年			平成32年		
	面積	構成比	面積	構成比	増減率 (H27/H20)	面積	構成比	増減率 (H32/H27)
農用地	2,350	7.1	2,338	7.1	0.5	2,335	7.1	0.1
農地	2,350	7.1	2,338	7.1	0.5	2,335	7.1	0.1
採草・放牧地	0	0.0	0	0.0	-	0	0.0	-
森林	27,783	84.3	27,783	84.3	0.0	27,783	84.3	0.0
国有林	5,986	18.2	5,986	18.2	0.0	5,986	18.2	0.0
民有林	21,797	66.1	21,797	66.1	0.0	21,797	66.1	0.0
原野	27	0.1	27	0.1	0.0	27	0.1	0.0
水面・河川・水路	606	1.8	606	1.8	0.0	606	1.8	0.0
水面	295	0.9	295	0.9	0.0	295	0.9	0.0
河川	185	0.6	185	0.6	0.0	185	0.6	0.0
水路	126	0.4	126	0.4	0.0	126	0.4	0.0
道路	550	1.7	554	1.7	0.7	556	1.7	0.4
一般道路	346	1.0	350	1.1	1.2	352	1.1	0.6
農道	135	0.4	135	0.4	0.0	135	0.4	0.0
林道	69	0.2	69	0.2	0.0	69	0.2	0.0
宅地	361	1.1	366	1.1	1.4	367	1.1	0.3
住宅地	208	0.6	209	0.6	0.5	210	0.6	0.5
工業用地	21	0.1	24	0.1	14.3	24	0.1	0.0
その他の宅地	132	0.4	133	0.4	0.8	133	0.4	0.0
その他	1,283	3.9	1,286	3.9	0.2	1,286	3.9	0.0
合計	32,960	100.0	32,960	100.0	0.0	32,960	100.0	0.0



## 6 人口などを基礎とした用地原単位の推移

### (1) 農用地面積と関係指標の推移と目標

区分	農用地面積			人口 (人)	町面積 (ha)	人口1人 当たり農 用地面積 (a/人)	町面積に 占める農 用地面積 の割合 (%)
	農地 (ha)	採草放牧地 (ha)	計 (ha)				
平成12年	2,445	0	2,445	9,204	32,960	26.6	7.4
平成17年	2,377	0	2,377	8,623	32,960	27.6	7.2
平成21年	2,350	0	2,350	8,353	32,960	28.1	7.1
平成27年	2,338	0	2,338	7,392	32,960	31.6	7.1
平成32年	2,335	0	2,335	6,784	32,960	34.4	7.1

(注) 人口は、平成12年及び平成17年は国勢調査、平成21年は10月1日現在の住民基本台帳、平成27年及び平成32年は国立社会保障・人口問題研究所の推計による(以降同様)。

### (2) 森林面積と関係指標の推移と目標

区分	森林面積 (ha)	人口 (人)	町面積 (ha)	人口1人 当たり森 林面積 (ha/人)	町面積に 占める森 林面積の 割合 (%)
平成12年	27,446	9,204	32,960	3.0	83.3
平成17年	27,768	8,623	32,960	3.2	84.2
平成21年	27,783	8,353	32,960	3.3	84.3
平成27年	27,783	7,392	32,960	3.8	84.3
平成32年	27,783	6,784	32,960	4.1	84.3

### (3) 水面・河川・水路面積と関係指標の推移と目標

区分	水面・河川・水路面積				人口 (人)	町面積 (ha)	人口千人当 たり水面・ 河川・水路 面積 (ha/千人)	町面積に占 める水面・ 河川・水路 面積の割合 (%)
	水面 (ha)	河川 (ha)	水路 (ha)	計 (ha)				
平成12年	294	185	126	605	9,204	32,960	65.7	1.8
平成17年	295	185	126	606	8,623	32,960	70.3	1.8
平成21年	295	185	126	606	8,353	32,960	72.5	1.8
平成27年	295	185	126	606	7,392	32,960	82.0	1.8
平成32年	295	185	126	606	6,784	32,960	89.3	1.8

(4) 道路面積と関係指標の推移と目標

区分	道路面積				人口 (人)	町面積 (ha)	人口千人当 り道路面積 (ha/千人)	町面積に占 める道路面 積の割合 (%)
	一般 道路 (ha)	農道 (ha)	林道 (ha)	計 (ha)				
平成12年	332	135	64	531	9,204	32,960	57.7	1.6
平成17年	343	135	66	544	8,623	32,960	63.1	1.7
平成21年	346	135	69	550	8,353	32,960	65.8	1.7
平成27年	350	135	69	554	7,392	32,960	74.9	1.7
平成32年	352	135	69	556	6,784	32,960	82.0	1.7

(5) 宅地面積と関係指標の推移と目標

区分	宅地面積				人口 (人)	町面積 (ha)	人口1人当 り宅地面積 (㎡/人)	町面積に占 める宅地面 積の割合 (%)
	住宅地 (ha)	工業 用地 (ha)	その他 の宅地 (ha)	計 (ha)				
平成12年	203	19	115	337	9,204	32,960	366.1	1.0
平成17年	207	21	125	353	8,623	32,960	409.4	1.1
平成21年	208	21	132	361	8,353	32,960	432.2	1.1
平成27年	209	24	133	366	7,392	32,960	495.1	1.1
平成32年	210	24	133	367	6,784	32,960	541.0	1.1

(6) 全域面積と関係指標の推移と目標

区分	全域面積 (ha)	人口 (人)	人口1人当 たり町面積 (ha/人)
平成12年	32,960	9,204	3.6
平成17年	32,960	8,623	3.8
平成21年	32,960	8,353	3.9
平成27年	32,960	7,392	4.5
平成32年	32,960	6,784	4.9

## 7 土地利用転換マトリックス

( 1 ) 平成 2 1 年 ~ 平成 2 7 年

( 単位 : ha )

面積増加 面積減少		平成 21 年															増減 面積 (A)-(B)
		農用地	国有林	民有林	原野	水面	河川	水路	一般道	農道	林道	住宅地	工業用地	その他の 宅地	その他	計(A)	
		2,350	5,986	21,797	27	295	185	126	346	135	69	208	21	132	1,283	32,960	-
平成 27 年	農用地	2,338															12
	国有林	5,986															
	民有林	21,797															
	原野	27															
	水面	295															
	河川	185															
	水路	126															
	一般道	350	3									1				4	4
	農道	135															
	林道	69															
	住宅地	209	2													2	1
	工業用地	24	3													3	3
	その他の 宅地	133	1													1	1
	その他	1,286	3													3	3
計(B)	32,960	12									1					-	

( 2 ) 平成 2 1 年 ~ 平成 3 2 年

( 単位 : ha )

面積増加 面積減少		平成 21 年															増減 面積 (A)-(B)
		農用地	国有林	民有林	原野	水面	河川	水路	一般道	農道	林道	住宅地	工業用地	その他の 宅地	その他	計(A)	
		2,350	5,986	21,797	27	295	185	126	346	135	69	208	21	132	1,283	32,960	-
平成 32 年	農用地	2,335															15
	国有林	5,986															
	民有林	21,797															
	原野	27															
	水面	295															
	河川	185															
	水路	126															
	一般道	352	5									1				6	6
	農道	135															
	林道	69															
	住宅地	210	3													3	2
	工業用地	24	3													3	3
	その他の 宅地	133	1													1	1
	その他	1,286	3													3	3
計(B)	32,960	15									1					-	

